

2018年第6回 社会資源の改善開発を实践し入所を選ばないプロジェクト

社会資源の総点検「教育」

これまでの日本の教育はひとしさを前提としていたが、障害児（者）からすればそれは分離を前提としたものであった。分離教育の受け皿として特別支援学校や特別支援学級は、あくまでも形式的に実現したひとしく教育を受けさせるための仕組みであった。

しかし、人がひとを支えるのに成熟した障害社会を前にして、分離された学びの場で、人はほんとうに支え合うことができるのか。かたくなに主張してきた日本型インクルーシブ教育の優位性は多様さを認めて共生する社会づくりに有効なのか。障害当事者として、元教員として、インクルーシブ教育の実現にむけた活動をするお二人をお招きし、当プロジェクトの目的である入所（分離）を選ばずとも地域（包容）で生き続けるための教育の改善開発を議論したい。

2018年6月28日（木） 14時～17時

自立生活センターアークスペクトラム事務所

※ネット中継参加可能です。Gメールアドレス教えてくだされば中継にご招待します。

14:00-14:15 趣旨説明・参加者自己紹介

14:15-15:30 海老原さんのお話（60分）/鈴木さんのコメント（15分）

15:30-16:30 永井さんのお話（45分）/中根さんのコメント（15分）

16:30-17:00 参加者を交えた討論